

「主は死人のうちからよみがえり」

ローマ8：34－39 使徒信条Ⅳ

堀田修一 22・9・25

本日は、使徒信条の主は「三日目に死人のうちからよみがえり、天にのぼられました。そこからこられて、生きている者と死んでいる者とをさばかれます」をみことばにより説き明します。毎週の主日礼拝の中で使徒信条の意味を噛み締め、心から告白し、三位一体の神を見上げつつ「主の祈り」を祈ることは「宣教と成長」に繋がり、神の国の拡大の祝福が広がります。

1. 「三日目に死人のうちからよみがえり」。主は2千年前の金曜日の午前9時から午後3時まで私達の罪のために十字架に付けられ、日曜日の朝によみがえられた。日本の一日の始まりとユダヤの一日の始まりは違う。ユダヤ教の暦では、一日は日没とともに始まる。ユダヤでは一日は日の入り（18時）に始まり、日の入りに終わる。ユダヤ暦の方が先に日付が変わる。つまり、主が死なれた金曜日は、午後6時で終わり、土曜日が始まり、午後6時で終わり、主がよみがえられた日曜日は、土曜日の午後6時から始まった。そのために、主が十字架で死なれ、「三日目によみがえられた」との告白になる→「キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられた」Iコリント15：3，4。「主のよみがえり」が私たちに与える恵み。

① 主が、よみがえり、復活によって、人間が決して勝利できない死に打ち勝たれ、主の十字架の死により私たちのために獲得された義（神の前に無罪、罪の赦し、神の前に正しい者と認められ、神との関係の回復）に私たちを与らせて下さる驚くべき恵み。「主イエスは、私たちの背きの罪のゆえに死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられました」ローマ4：25。

② その死への勝利、復活の御力によって私たちも今、地上で新しい命に生かされる恵み。「神の大能の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力が、どれほど偉大なものであるかを、知る（体験する）ことができますように。この大能の力を神はキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえらせ」エペソ1：19，20。「キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、新しいいのちに歩むためです」ローマ6：4。私たちは、主を信じ、主の復活の力で新しい歩みをさせられている。復活の主が私たちの人生におられない人生は、どのようなものだったろう？主の十字架の恵みと復活の恵みがなければ、私たちにあるのは絶望のみ。滅びのみ。しかし恵みの人生へ！主から真の正しさと真の温かい愛、優しさを受け続ける人生の幸い。愛をもって正直に語り合い、愛をもって聞き合う人生、人間関係を復活の主は導かれる。

③ 私たちにとり、主のよみがえりは、私たちもいつか死を迎えても主の再臨の時に、主によってよみがえる確かな保証。「今やキリストは、眠った（主を信じて天国に行った人々）者の初穂（主と霊的に結合している人々は復活するという保証）として死者の中からよみがえられました」Iコリント15：20。今、あなたは、つらい試練の中にありますか。復活の主があなたと共におられ支えて下さいます。私たちが神の時に死を迎えるまで主は力と愛を与えてくださり、地上での使命を終えて死を迎えるとき、主は、天国に迎えてくださる。そして天での礼拝に加わる！何と素晴らしい礼拝だろう。世の終わりの主の再臨の時に栄

光あるからだによみがえらせてくださる。「朽ちるもので蒔かれ、朽ちないものによみがえらされ、卑しいもので蒔かれ、栄光あるものによみがえらされ」Ⅰコリント15：42，43。罪、悪い心、病や障害のない栄光の心と体に変えて下さる。

2. 「天にのぼられました」。「イエスは使徒たちが見ている間に上げられた。そして雲（神の臨在も示す）がイエスを包み、彼らには見えなくなった。…白い衣を着た二人の人（天使）が…言った。「あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行くのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになります」使徒1：9－11。キリストは、真の神であり、真の人間となられた。復活された後も、神であり人間の栄光の体を持つお方として天に上られた。この主は、人間としての御性質としては、今は地上におられないが、その神性、威厳、霊としては、片時も私たちから離れておられず、どんなにつらいときも私たちと共にいて、支えて下さる。「見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます」マタイ28：20。天に上られたとは、もともとおられた御父のもとに戻られたという意味。
3. 「そして全能の父である神の右（右は栄誉を意味する）に座しておられます」。御座は神の栄光と支配を意味し、臨在の場を意味する。「座しておられる」とは、主の救いの御業が、完了、完成、決着がついた、私たちの罪の償いに関して、これ以上何もする必要がないという意味。そして主は、あらゆる権威、支配を帯びて神の右の座に着いておられる。「神は…キリストを天上でご自分の右の座に着かせて、すべての支配、権威、権力、主権の上に、また、今の世だけでなく、次の世においても、となえられるすべての名（名誉）の上に置かれました（現在も御国、神の支配の拡大の進行中）。また、神はすべてのものをキリストの足の下に従わせ、キリストを、すべてのものの上に立つかしらとして教会に与えられました。教会はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方（キリスト）が満ちておられるところです（特にキリスト者が集まりささげる礼拝の中に臨在され、満ちておられる）」エペソ1：20－23。主の教会の礼拝には、特別な恵みがあり、御国（神の支配）が拡大する恵みがある。この二千年間、主は御父の右の座で→「わたしたちのために、とりなしておられる」ローマ8：34。主が、御父の右で私たちのために、とりなしておられるので、神のあらゆる恵み、救い、赦し、折りにかなった助けが私たちに与えられる。偉大で恵み深い神に主を通して、いつでも祈り近づける。「私たちの大祭司（主キリスト＝油注がれた方）は、私たちの弱さに同情（原語：苦しみを共にする、おもいやる）できない方ではありません。…私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折りにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの座に（神に）近づこうではありませんか」ヘブル4：15，16。
4. 「そこから来られて」。世の終わりの主の再臨。ヘブル9：28。主の再臨は、主を信じる私たちの最大の希望である。人には知らされない神の時に、この世に来られる主の再臨により、私たちの救いが完成し、栄化され、栄光の体とされ、新天新地が誕生し、新天新地で天使達と主に救われたすべての人々と全被造物とで神を礼拝し、永遠に神に愛され、互いに愛し合う。黙示録5：11－14。何という恵みでしょう。悪も、不正も、罪も一切ない。神の正義と神の愛と神の栄光に溢れた新天新地！黙示録21章。※統一教会の教え「文鮮明が再臨のキリスト」。文鮮明はただの人間であり、亡くなった。今は、その妻が権力を持ち崇められている。「天の父母様」聖会が行われている。これは、根本的な偽の教え。私たちは、聖書から正しい真理の帯（エペソ6：14）をいただきましょう。

5. 「生きている者と死んでいる者とをさばかれます」。この地上では、不当な裁判があり、政治家や検察も、権力者に忖度する。冤罪もある。しかし、再臨の主は、この世で見過ごされたすべての悪を正しく裁かれる。そして、主を信じた者と唯一の主を否定し信じなかった者の裁きがある。「人の子（主イエス・キリスト）は、その栄光帯びてすべての御使いたちを伴って来る（再臨）とき、その栄光の座に着きます。そして、すべての国の人々が集められます。…羊（主を信じた人々）を自分の右に、やぎ（主を信じなかった人々）を左に置きます。それから王（主キリスト）は右にいる者（主を信じた人）たちに言います。『さあ、わたしの父に祝福された人たち。世界の基が据えられたときから、あなたがたのために備えられていた御国を受け継ぎなさい。…王（主キリスト）は左にいる者（主を信じなかった者）たちにも言います。『こののろわれた者ども。わたしから離れ、悪魔とその使い（悪霊）のために用意された永遠の火に入れ。…こうして、この者たちは永遠の刑罰に入り、正しい人（主を信じた人）たちは永遠のいのちに入る』マタイ25：31－46。間に合う内に主を信じ、永遠の恵みの救いの福音を人々に伝えましょう！